



かけはし

公益財団法人 豊島修練会

事務局：成美教育文化会館（内）

TEL: 042-471-6600 FAX: 042-471-6600

HP「成美教育文化会館」で検索！

平成30年4月（第1号）

「主体的・対話的で深い学び」が大事！

小学校は平成32年度から、中学校は平成33年度から「新学習指導要領」によって学校の授業が行われます。小学校では、「外国語（英語）教育」や「プログラミング教育」などが新しく始まりますし、小中学校では「データの活用（統計教育）」や「情報活用能力」などが重視されます。

特に、「主体的・対話的で深い学び」が大切で、各教科や外国語活動、総合的な学習の時間など全ての授業で、これまでも増して一層重視していくことになりました。



文科省（専門家）の説明

児童生徒に育成すべき資質・能力を確実に育むための学びの質に着目し、授業改善の取り組みを活性化していく視点として「主体的・対話的で深い学び」を位置づけた。「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」は、各教科等における授業改善等の取組に共通し、かつ普遍的な要素である。

＜主体的な学び＞学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげること。

＜対話的な学び＞子ども同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深めること。

＜深い学び＞習得・活用・探究と言う学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連づけてより深く理解したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かうこと。

★お分かりいただけましたでしょうか？

修練会（素人）の説明

子どもたちに質の高い学力を身に付けさせるために、先生方が授業を改善していく手掛かりの一つとして「主体的・対話的で深い学び」を取り入れることにしました。その際、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」を各教科等で共通して取り組むようにします。

＜主体的な学び＞課題（何をするか）を理解し、既に学習した知識・技能、考え方を使ってどのように解決するか見通しをもって粘り強く取り組み、その過程や結果（答え）をノートなどに表現する。そして、自分の学習活動を振り返って次の学習につなげるようにすること。自分の願いと関連付けること、自分からすること、自分であることが大切である。

＜対話的な学び＞自分で確かめる、仲間と話し合う、先生や地域の人と対話する、先哲（昔の偉人など）の考えを手掛かりに考えること等によって、自分の

考えを深めること。

＜深い学び＞各教科等で学習した知識・技能・考え方などに関連付けて深く理解したり、情報を詳しく調べ・確認して考えをまとめたり、さらに新しい課題（問題）を見つけて解決の仕方を考えたり、自分の願いや考えを基にして新しいことを創造したりしていくこと。

★これならいかがでしょうか？

つまり、①課題（問題）即ち何を考え、何を解決すればよいか理解します。②今までに学習したことなどを使って、どのように解決したらよいか見通しを立てます。③そして、自分なりに解決し、それをノートなどに表現しておきます。④次に、③のことを基にして、仲間同士で情報交換をします。さらに学級全体で学び合い、解決の仕方と結果についてまとめます。⑤そして④のことを基に、「知識・技能、考え方、価値観など」として学習のまとめをします。⑥さらに、⑤の学習のまとめを類似の課題（問題）に当てはめて、学習したことが確実に理解できたか確認します。

このような丁寧な学習を進めると、子どもたちは次第に「考え、分かり、でき、学習したことが使える」ようになっていきます。

「①を課題把握または課題理解、②③を自力解決（見通し&解決）、④を学び合い、⑤を学習のまとめ、⑥をあてはめ」と言う場合があります。

★今月号は、春のぼかぼかにうなされて、少し理屈っぽくなりました。ごめんなさい。
(BOKE 三宅)

＜備考＞ [成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。

4月の催しから

- 3日(火)10時20分～
KK ギタークラブ 2018年度
ミニ・コンサート
- 9日(日)10時30分～
上原美加 演歌の集い
- 21日(土)10時～
すずらんの会コンサート
- 21日(土)14時～
講演会
「AI(人工知能)の時代に向けたこれからの教育」
東久留米三田会
- 21日(土)14時～
音楽の旅 レコード&CD鑑賞会
- 22日(日)13時30分～
楽茶会「客の心得」

会館事務室から

今年も桜の季節がやってまいりました。会館横のソメイヨシノも見事な花を咲かせています。

卒業、異動、入学、就職など、4月は別れと出会いの季節です。桜の花を眺めながら、これから始まる新しい生活に思いをふくらませている方も大勢いらっしゃるでしょう。

「年年歳歳花相似たり、年年歳歳人同じからず」年齢を重ねることの悲哀や人の世の移ろいの必然を感じる漢詩の一節です。しかし、人間たるもの、年ごとに少しでも、成長、発展していきたいものです。

かけはし臨時号
(サークル紹介)
ができました。皆さんの活動が益々盛んになり、成長、発展の糧となりますように…。

